



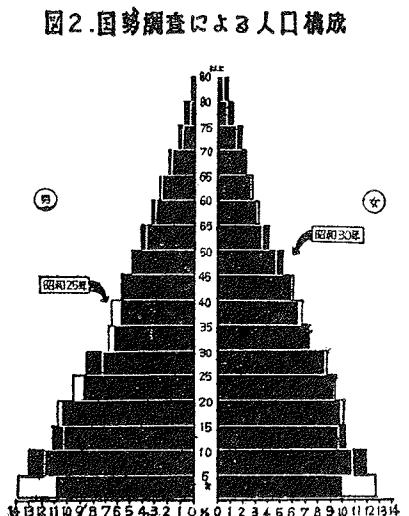
は戦前並く、
専門家によれば、この公
表は、長岡の人口は「三〇・七八
五人となり、速報人口より一名ふ
えました。」「一三〇・七八五人」と
のわずかな数字には、実にいろいろ
な意味が含まれ、特に過剰人口
の誇張につれ、ゆるく増加してい
る人口推移（）が、國勢調査に依
る人団調査（）大正九年の第二回國
勢調査に記録された。四六二七七
人から第五回国勢調査まで、商業
の盛衰につれ、ゆるく増加してい

二月定例市議會開

に深い関連を持つた農村を合併したことによって、農工一丸とした中堅都市になつたといふことであります。さらに出生による自然増や社会的原因による社会増では、十四歳と二十四歳の昭和二十一年の人口が著しいイボミを示す。戦争による生々しい犠牲や終戦後の異状に混乱した世相が原因。

医学の進歩に 産児制限普及

十四歳と四十五六三十歳の人口
昭和三十年の三十一三千九百
の人口とが著しくクボミを呈す
戦争による生々しい傷痕や
隨後の異状に馳走した世相を表
ています。
③高年齢に進むにつれ、幼年時
は反対に高くなり、医学の進歩
は喜ばしいが、現在の経済生
活の問題は、この点で最も注目さ
れてゐる。たゞ、この問題は、主
として中堅都市になつたといふこと
であります。さうい出生による自然
増や社会的原因による社会増では
昭和三十年の一三〇、七八五人に
対し、昭和二十五年は二二一〇
三四人でこの五年間で八、七〇五
人の増加があつたことが表れまし
た。



新町校 杉木あや子
三橋校 関崎裕昭 表町
木花洋子 表町高柳英夫
町酒井勝 舟町寺沢忍
南中福住光子 表町
岡村勇 表町校金山本
校山口 審表町校反町惠子、表
校今井勝表町校星野雅子、表
校相沢久子 表町校佐藤通子
表町校手塚みえ子

年齢別に戦禍の跡

国勢調査
の結果①

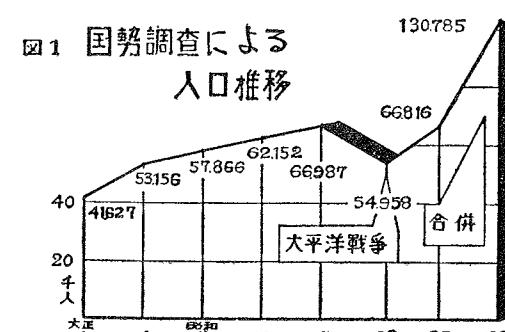


図1 国勢調査による
人口推移

年	人口(千人)
大正 1920	41,627
昭和 1925	53,156
昭和 1930	57,866
昭和 1935	62,152
昭和 1935 (最終)	130,785

から老後の社会保険制度を、

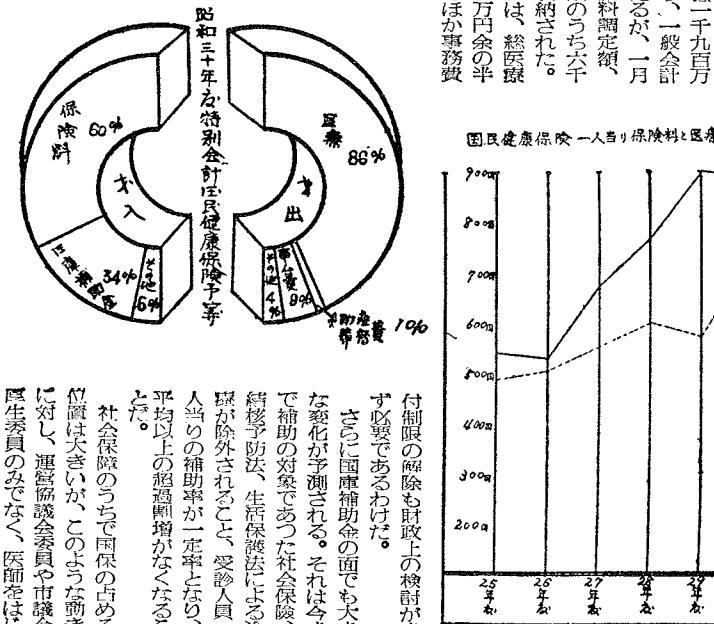
口の入賞者

から若後の社会保障制度を、じめに考へねばならない時のきつあることを示唆していく。
す。(次号に連ぐ)

昭和二十 一月一日長 國民健保保 合が市営に して七ヵ年を した。 當時付帶 万二千百三 被保險者五 千八百五人 保險料は三 円余、療養 は二千八百 となつてい そしてとの 決算は總收 九百六十一 余、支田三 八十万円余 引三百三十一萬円余の收入不平 いわゆる赤字で、二十五、二 六、二十七三年は、一般会計 の一時借入金六百余万円で帳 を補うため苦難の道が続いたた めの原因は①保險料納入率が八 分なかつたことなどが主な点と てあげられる。 國保受給率の面では、二十四 に被保險者が一人当たり一・八三 平均にかかり 二十五年度

四年岡市組員なつ経過二十六年度二十七年度二十八年度二十九年度さるに今年度は一人全回と見込まれている。また診療の一卓算値は三年末まで七円、二千円余から今年度は一箇月十一円五十錢となつた。十四ヵ町村の合併と愛媛の「一六六年十二月」の当初予算となり予算の一割八分にあたるから十二月までの保険料七千二百九十二万円余が九百五十四万円余が收取された保険料この微収された保険料を予算の約六割で残りの四割が国、県、一般会計の経費に使われ、この施設費に一千二百萬円程度が必要である。保険料の割合は予算の約六割で残りの四割が国、県、一般会計の補助金による。補助金のうち医療費負担額の二分の十、施設費三分の一という國庫による分が

四



年齢	検査回数
25歳未満	5,000
26歳	4,000
27歳未満	3,000
28歳	2,000
29歳	1,000
30歳未満	500

公金融庫 小口貸付を20カ月に
國民金融公庫長岡支所では、い
ままで取扱つてゐた通小口貸付
う市長の方針から、去る日

国民金融公庫長岡支所では、いまで取扱つたいた普通小口貸付の期間を二千カ月以上(大体二十回目賦償還)に延長することにした。また現賃付残金が貸付額の三分の一以下になったときに、賃貸付も実施される。これは現賃付金額から賃貸付残金の元利金の相殺弁済の取扱いによるもの。

申込その他の相談は市役所商工課または直接同支所(長岡町角)へ。

赤字処理の研究会

市役所で職員も研修

「地方自治を確立し、住民の福祉増進するためには、そこに勤務する各職員が、担当する事務を新しい感覚で、しかも民主的、能

率的に処理する必要がある」という市長の方針から、去る二月二十日係長以上を対象とした研修会が開かれた。

このたびの研修会は、最初の試みとして財政問題を中心とした座談会となり、丸山助役を中心とし、小林敏書、笠原務爾課長の説明を開き、「歳入の確保はどうすべきか」として長岡市は赤字になつたかについて意見の交換が行われたが、結論的なものはせず、次回でなお研究する。

まことに十二月一日以後新採用の職員を対象に、三月一日から三月間講習会を行つた。今後市役所としてどの種の職員研修会を時々開き、職員の向上を図る計画です。

受診率一人二回へ 望まれる保険料の完納

支那の防衛費の実績
一九二六年度 一二二四 大部分を占めている。

十六社と同上とする。昭和二十九年度に一千三百一十七万円、昭和二十九年度に四百三十六万円余の黒字をそれぞれ生みだした。この黒字をそのまま持つてのうで、この年は、いよいよ大変な年となってしまった。この年は、昭和三十一年度の予算額が、前年よりも一百二十億円増加する。これが、昭和三十一年度の予算額である。この年は、昭和三十一年度の予算額が、前年よりも一百二十億円増加する。これが、昭和三十一年度の予算額である。

市役所申告

市民税申告範囲を縮少